



SDGs時代の パートナーシップ

～デザイン思考とシステム思考を活かして
協働を模索する～

@ZOOM

2021年10月24日(日)

佐藤真久

東京都市大学大学院 教授

m-sato@tcu.ac.jp / masahisasato@hotmail.com



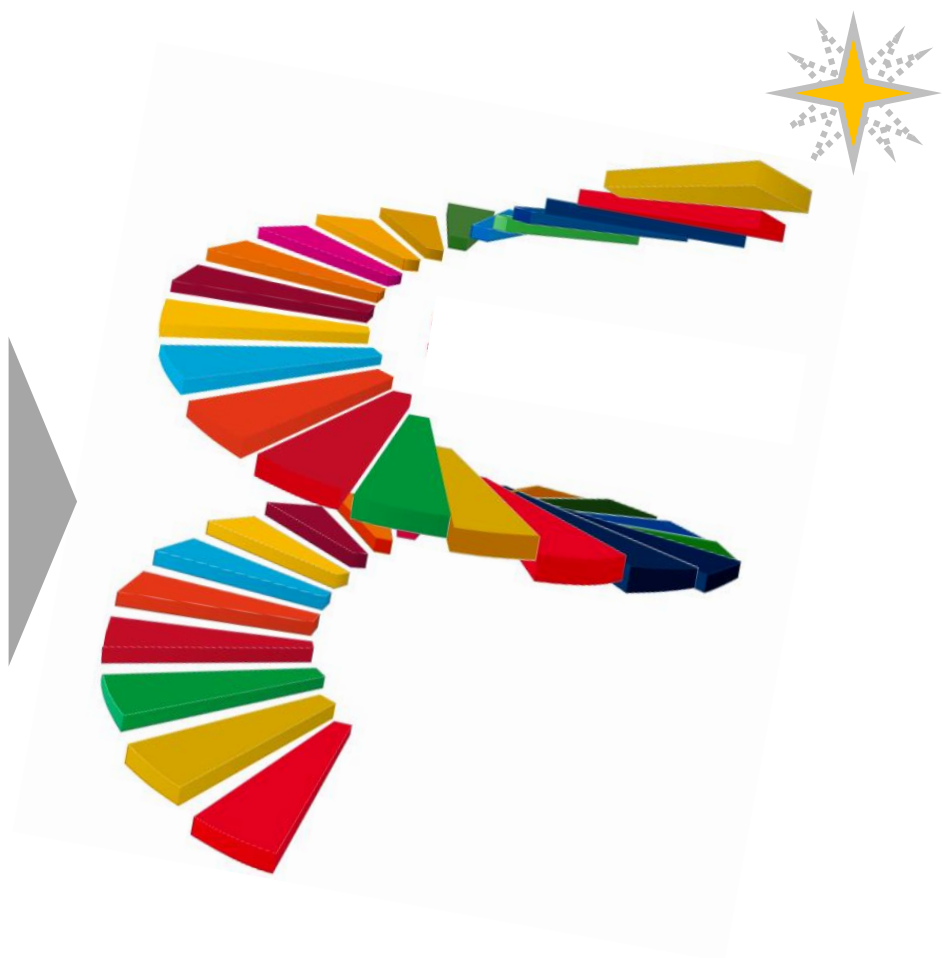


福山市
Fukuyama City

福山 2021
共創 塾



持続可能な開発目標(SDGs:2016-2030) に連関のSDGsから、動的で包括的なSDGsへ





③ 動的で包括的なSDGsへ
(価値共創・問題解決ツールとしてのSDGs)

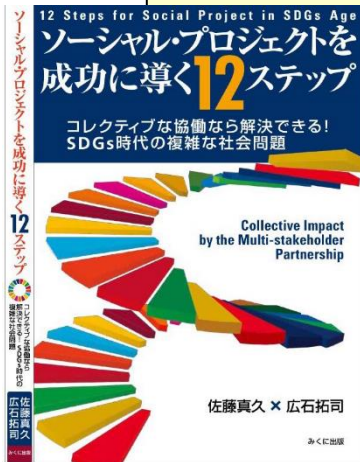
② 相互関連のSDGsへ
(複雑性の発見)

① 個々のSDGへの
タグ付けから
(目標対応型)





- ① 解決策を急いでも、そもそもの**問題が見えていない**
- ② “**流行り**”のトピックばかりに注目が集まる
- ③ **似た背景の人同士**が集まり、発想が行き詰まる
- ④ NPO、行政、企業で**価値観が違うので組めない**
- ⑤ 同じテーマに取り組む**人同士の覇権争い**
- ⑥ **悪いところを指摘しあい、ルールや報酬の曖昧さ**などが生む不信
- ⑦ **主導権争い、組織からの制約**
- ⑧ 立ち上がりは盛り上がるが**続かない**
- ⑨ 継続することが目的となり、**マンネリ化**してしまう



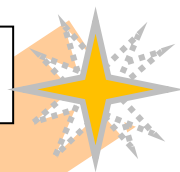


デザイン思考とシステム思考





ありたい姿



現在の姿(強みや機会、弱みや脅威)を認識し、現在有している資源・機会・能力を持ち寄り、どのように課題を解決すればいいのかを論理的に考える

②システム思考

実現可能性

互いの力を活かし、ありたい姿へ近づく

現在の姿

革新性
ありたい姿からイメージする

①デザイン思考

ありたい姿のアイデアを創出し、ありたい姿においてどのように協働しているかをイメージし、逆算して考える



なるほど！

(共感)

どんなニーズがあるの？

(潜在的ニーズ)

こんなアイデアあるよ！

(概念化)

やってみよう！

(試作)

どうだった？

(フィードバック)

革新性

ありたい姿から
イメージする

①デザイン思考

ありたい姿のアイデアを
創出し、ありたい姿において
どのように協働しているかを
イメージし、逆算して考える



現在の姿を認識し、
現在有している資源・機会・能力を持ち寄り、どのように課題を解決すればいいのかを論理的に考える

②システム思考

実現可能性

互いの力を活かし、
ありたい姿へ近づく

これとこれがつながるね！

（相互作用）

こんな意味があるよ！

（意味の多面性）

やりつづけるとこうなるね！

（時間の中での変化）

あとでこんな影響があるよ！

（時間の遅延による影響）



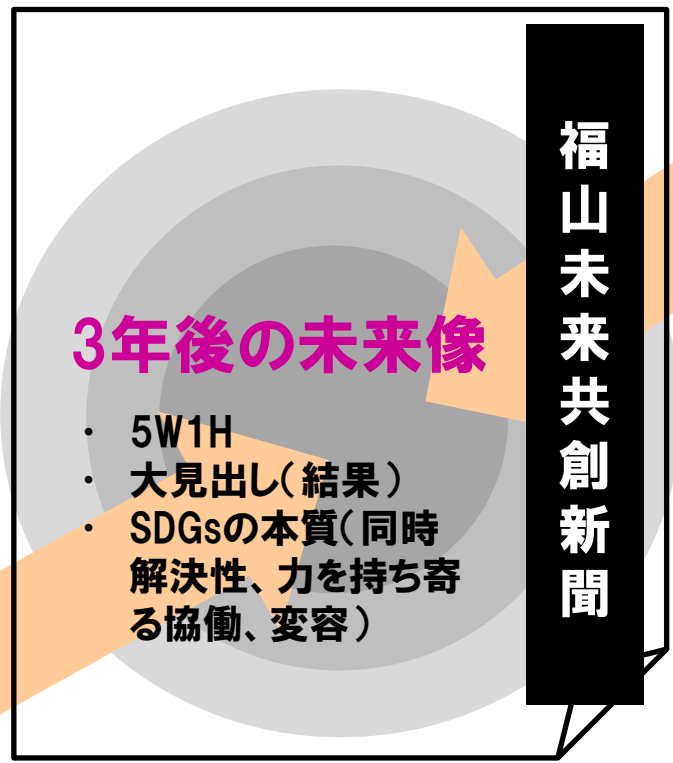
ありたい姿

革新性
ありたい姿から
イメージする

①デザイン思考

ありたい姿のアイデアを
創出し、ありたい姿において
どのように協働しているかを
イメージし、逆算して考える

福山未来共創新聞



3年後の未来像

- 5W1H
- 大見出し(結果)
- SDGsの本質(同時解決性、力を持ち寄る協働、変容)

現在の姿を認識し、
現在有している資源・機会・能力を持ち寄り、どのように課題を解決すればいいのかを論理的に考える

②システム思考

実現可能性
互いの力を活かし、
ありたい姿へ近づく

現在の姿



2020年度の未来新聞(福山未来共創新聞)の作成風景



未来新聞(福山未来共創塾新聞)の作成風景



2020年度の未来新聞(福山未来共創新聞)の作成風景

